

CO₂排出実質ゼロへ

イノベックス・浅見昌之社長

政府は2050年までに、二酸化炭素(CO₂)などの温暖化ガスの排出量から植林などの吸収量を差し引いて、合計を実質ゼロにするカーボンニュートラルを目指している。発電比率は22年に再生可能エネルギーが22%、原子力が6%だったのを30年に再生可能を36~38%、原子力を20~22%の計6割に高めようとしている。

しかし英調査会社のウッドマッケンジーは再生エネルギーが14%の合計45%までしか伸びないという試算を示しており、達成の見通しは厳しい。そこで注目されるのが地中熱の活用だ。

地中熱は地熱とは異なり、再生エネルギーのひとつである地熱発電には利用できない。だが1年を通して15~18度と安定しており、夏は冷たく、冬は温かく感じる。

中堅・中小の現場から



地中熱活用の冷暖房を

この外気温との差を利用してリングにより地面に穴をあけ、ヒートポンプで熱を移動し、ヒートポンプで熱を移動させれば、効率的な冷暖房とCO₂削減が実現できる。省エネルギーの冷暖房設備として認められ、すでに羽田空港、東京スカイツリー(東京・墨田)、東京五輪・パラリンピックの会場となったアクアテイクスセンターなどで活用されている。

この外気温との差を利用して、ヒートポンプで熱を移動させれば、効率的な冷暖房とCO₂削減が実現できる。省エネルギーの冷暖房設備として認められ、すでに羽田空港、東京スカイツリー(東京・墨田)、東京五輪・パラリンピックの会場となったアクアテイクスセンターなどで活用されている。

この方式は配管を井戸に投入するだけでなく、井戸の中の水温が流体の温度に近づくのと井戸から水を抜くことで水温を元に戻す。このため、一般的な地中熱方式に比べ5倍の採熱能力を持ち、採熱用ボアリング孔が5分の1で済む。このころ、脱化石燃料の志が高いオーナーに提案す

《会社概要》	東京都中央区
▽本 社	プラスチックシート・フィルム、合成繊維製網製品などの製造・販売
▽事業概要	2013年2月
▽設 立	471人
▽従業員数	(23年4月1日時点)
▽売 上 高	180億円 (2023年3月期)



イノベックスの工場に導入した熱源孔。深さ100メートルの熱源から合計200キロワットの出力が可能(静岡県袋井市)

― 随時掲載